

袋井あやぐも学園保健委員会 報告

令和6年12月

11月12日(火)に袋井西コミュニティセンターにおいて「袋井あやぐも学園保健委員会」を開催しました。

テーマ：「温かい人間関係づくり」

性教育トレーナー・保健師 佐々木睦美氏の講話



成長する心と体 ～親が知っておきたい性のこと～

- 1、性教育は何のために必要か
- 2、体の仕組み 知識の確認
- 3、おとなに変わる 体と心 二次性徴

1、性教育は何のために必要か

☆自分の体と心を守る

病気から

暴力から

自分の体は
自分のもの

☆自己肯定感・自尊感情を育む

- ・自分を大切、好きと思える気持ち
- ・自分は自分であっていい

自分の体ってすごい!
体への感謝

☆幸せに豊かに生きる

- ・人とより良く関わる
- ・自分の生き方を選択する



2、体の仕組み 知識の確認

簡単に手に入る過激な性情報
ゆがんだ知識、強い刺激

エロ

科学の話へ
名称と働き

! 科学目線の話はすっと入る



3、おとなに変わる 体と心

☆思春期・・・二次性徴が始まってから完成するまでの時期



子ども

*体や心が変化する

おとな

つけてもらいたい力

自分でよく考え 選んで 自分で決めていく力！
「自分人生は自分のもの」
心と体の決定権は自分自身にある



佐々木睦美さん

- ・講話の感想
- ・性に関する子育ての悩み、困っていること、心配なこと
- ・我が家の性教育 こんな子としています
- ・性について知りたいこと、聞いてみたいこと



分科会 1

- ・今日の話子どもに伝えたいが、母親(異性)だと伝えにくい。父親(同性)の協力を得て伝えたい。
- ・性については絵本を通して伝えてきた。
- ・男の子はいつまで母親とお風呂に入っているのか悩む。

分科会 2

- ・親より友達から学んでくる。
- ・聞かないと話さなくなっている。
- ・性器の洗い方を教えていない。高校生からでも間に合うか?⇒間に合います!



分科会 3

- ・いわゆる性教育について学校でどれくらいのことを教えてくれているか知らなかった。
- ・思春期になり親の言うことを聞かなくなってきた。どのように対応したらよいか悩む。

分科会グループ分け

分科会 1 (小学校低学年の保護者) 分科会 2 (小学校中学年～高学年の保護者)
分科会 3 (小学校高学年～中学校の保護者)



感想



「性のことを深く考えてこないままだったな。」というのが正直な所です。6年生なので、すでに周りの環境から性を大切なことと理解しつつも、エロとして捉えている部分も多くあると思います。お話の最後にそういう年齢の子にはさりげなく関係する本を置いておくと良いとお聞きしたので、近いうちに選書し忍ばせてみようと思います。また、今日、早速こんな話を聞いてきたよと会話してみようと思います。

自分自身が、「それって話していいことなのかな。」と思うところがあるので、子どもの時から積み重ねてきた経験で、そういう思考ができてしまう怖さを改めて実感しました。

性に対する大切さを教えていただきありがとうございました。家庭でこういう話をするのは今までなかったので、これを機に話してみようと思います。

性教育と向き合うことに躊躇していた私でした。子どもにはどのように伝えてるべきなのか、伝えてよいものなのか、そんな思いで今回参加しました。

今回体の仕組みを改めて確認でき、子どもへの伝え方はとても分かりやすく、すぐに実践したい内容ばかりでした。性教育にかかわらず、「いや」と気持ちを伝えることができるということは今後様々な場面で大切だと思います。それが再認識でき、とても有意義な時間でした。

子どもに性についての話をするときは、先生の言う「エロ」で話をしていました。自分が性について興味をもったときは、親には言える雰囲気ではなかったので、科学だと言われてハッとしました。

今後は子どもと話をするときは恥ずかしがらず、科学を意識して話をしたいと思います。

学園保健委員会ギャラリー

